



免責事項 **HORIBA**

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA**
© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

- ・ 2008年12月期決算サマリー
- ・ 2009年12月期業績計画
- ・ セグメント別詳細説明
- ・ 経営上の取組事項

2008年12月期 連結決算概要

2008年度は7期ぶりの減収減益

自動車排ガス好調、半導体システム需要減
 分析・医用システム採算悪化
 為替影響(対日本円)により、売上高▲69億円、営業利益▲12億円
 訴訟損失引当金戻入などで、特別損益戻改善(+17億円)

P/L

売上高 ▲ 7%、営業利益 ▲ 33%、当期純利益 ▲ 30%

B/S

売掛債権の減少、円高による外貨建資産の円換算目減りなどで、
 総資産減少(前期末比▲210億円)

バランスシートのスリム化推進

C/F

業績悪化などにより営業CF +75億円(前期比▲60億円)
 設備投資減少で投資CF +4億円
 普通社債50億円償還で財務CF▲39億円

営業CFを将来に向けた積極投資に活用

(金額:億円未満切捨て)

2008年12月期連結業績

HORIBA

(金額:億円)

	2007年12月期	2008年12月期		従来予想	
	実績	実績	前期比	11/5時点	予想比
売上高	1,442	1,342	▲100 (▲7.0%)	1,340	+2
営業利益	165	109	▲55 (▲33.7%)	110	▲0
営業利益率	11.5%	8.2%	▲3.3P	8.2%	-
経常利益	159	100	▲59 (▲37.0%)	105	▲4
当期純利益	86	60	▲26 (▲30.5%)	63	▲2
ROE	11.4%	7.7%	▲3.7P	8.1%	▲0.4P

Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

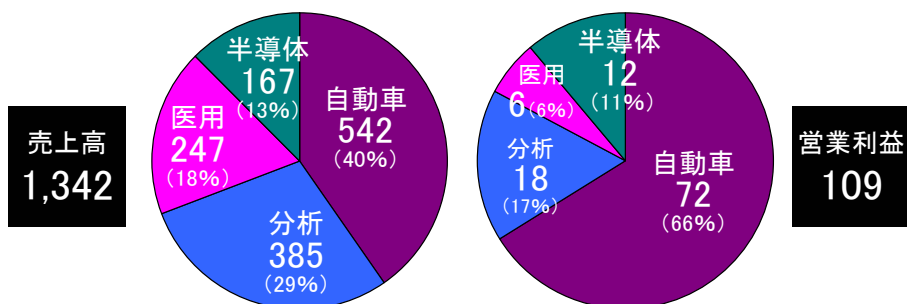
© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

セグメント別業績概要

HORIBA

(金額:億円)

セグメント別 金額・構成比



前期比	自動車	売上高	5.4%増	営業利益	7.0%増
	分析	売上高	3.8%減	営業利益	31.6%減
	医用	売上高	4.3%減	営業利益	45.0%減
	半導体	売上高	37.8%減	営業利益	79.2%減

Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2008年12月期セグメント別業績(前期比)				
HORIBA (金額:億円)				
	売上高	前期比	営業利益	前期比
自動車	542(514)	+5.4%	72(67)	+7.0%
分析	385(400)	▲3.8%	18(26)	▲31.6%
医用	247(258)	▲4.3%	6(12)	▲45.0%
半導体	167(269)	▲37.8%	12(58)	▲79.2%
合計	1,342(1,442)	▲7.0%	109(165)	▲33.7%

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific HORIBA
© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2008年12月期セグメント別業績(予想比)				
HORIBA (金額:億円)				
	売上高	営業利益	要因分析	
自動車	+ 12	+ 5	生産体制強化により、年内大口案件を順調に出荷 量産効果により収益性向上	
分析	+ 5	▲ 1	景気後退の影響小さく、先端分野需要好調 競合激化の影響で、営業利益は若干の未達	
医用	▲ 2	▲ 2	年後半のユーロ安で収益回復基調 新製品投入の遅れで、若干の未達	
半導体	▲ 12	▲ 1	11月以降、想定以上に需要が急減少 コスト削減対応などで予想並みの利益を確保	
合計	+ 2	▲ 0	<p>予想は11/5発表時点</p> <p>(億円未満は切り捨て表示)</p>	

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific HORIBA
© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

- ・ 2008年12月期決算サマリー
- ・ 2009年12月期業績計画
- ・ セグメント別詳細説明
- ・ 経営上の取組事項

2009年12月期 事業別市場環境 & 為替影響

事業部門		市場環境	為替の影響
自動車	排ガス計測	悪化	マイナス
	DTS事業	悪化	プラス
分析	科学	悪化	プラス
	環境	中立	マイナス
医用		中立	プラス
半導体	半導体	悪化	マイナス
	太陽電池	良好	マイナス

為替レート

2009年度予想 US\$ = 90円 EUR = 115円
 2008年度実績 US\$ = 103円 EUR = 153円
 円高の影響 → 1円につきドル 6,600万円、ユーロ 2,900万円営業減益

2009年12月期 連結業績計画の主な施策

HORIBA

■ DTS事業をホリバ・ヨーロッパ社(独)へ統合(実施済)

- 配置見直しで、従業員(正規・期間)計約50名削減
 - 2008年度、特別損失2億円計上
 - 2009年度以降、年間1.5億円のコスト削減効果

■ 半導体事業から他事業へ人員をシフト

- 国内30名を配置転換

■ 経費削減

- 人件費削減(国内) 年間10億円のコスト削減
(国内主要会社の役員報酬・マネージャ給与を10~15%カットなど)
- 諸経費の削減 年間20億円のコスト削減(国内14億円、海外6億円)

☆研究開発費は前年並みを維持 106億円 → 95億円(円高影響で減少)

競争力強化・差別化推進に必要な投資は継続

Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

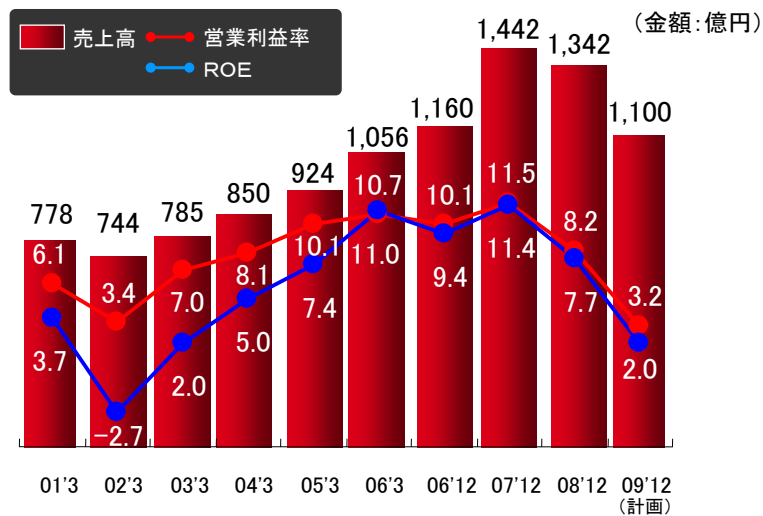
HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

全社

連結売上高・営業利益率・ROE推移

HORIBA



Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2009年12月期 連結業績計画

HORIBA

(金額:億円)

	2007年12月期	2008年12月期		2009年12月期計画	
	実績	実績	増減	通期	上期
売上高	1,442	1,342	▲100 (▲7.0%)	1,100	520
営業利益	165	109	▲55 (▲33.7%)	35	10
営業利益率	11.5%	8.2%	▲3.3P	3.2%	1.9%
経常利益	159	100	▲59 (▲37.0%)	30	8
当期純利益	86	60	▲26 (▲30.5%)	15	5
ROE	11.4%	7.7%	(▲3.7P)	2.0%	-

Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2009年12月期セグメント別業績予想

HORIBA

(金額:億円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比
自動車	415(205)	▲ 23.5%	25(14)	▲ 65.4%
分析	355(165)	▲ 7.9%	18(6)	▲ 1.5%
医用	220(100)	▲ 11.0%	12(3)	+ 77.0%
半導体	110(50)	▲ 34.4%	▲20(▲13)	—
合計	1,100 (520)	▲ 18.1%	35 (10)	▲ 68.1%

()内は、上期計画

Explore the future

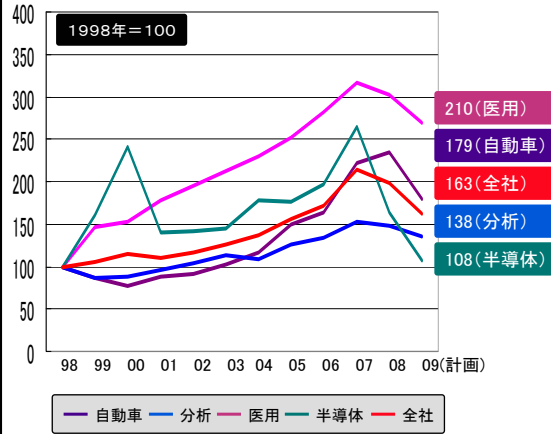
Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

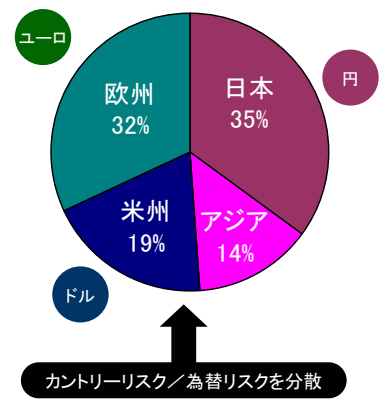
© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

バランス経営 ～事業・エリア分散によるリスク回避～ HORIBA

セグメント別売上高(10年成長率)



地域別売上高比率(2008年度実績)

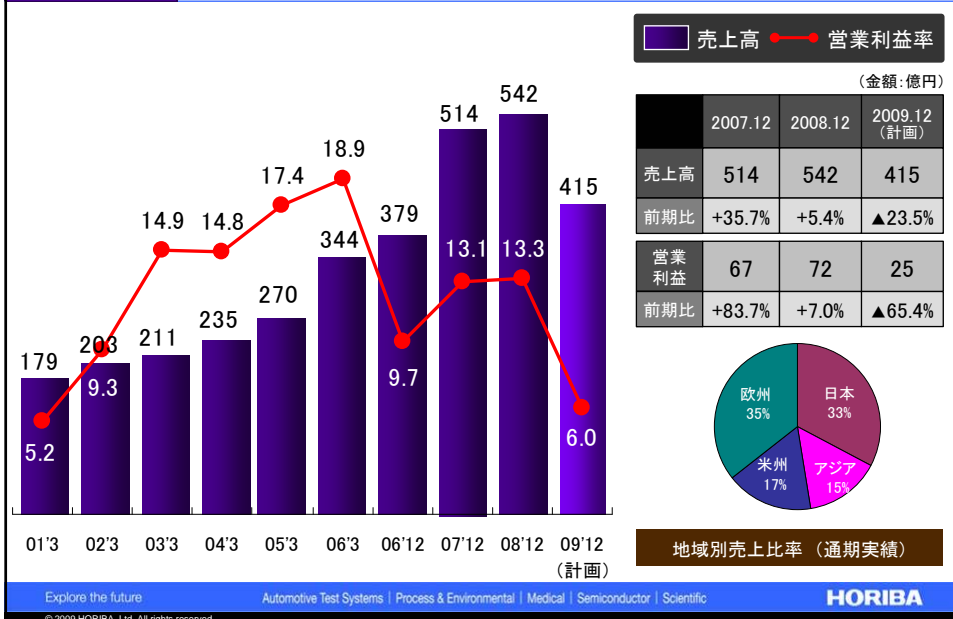


説明内容

- ・ 2008年12月期決算サマリー
- ・ 2009年12月期業績計画
- ・ セグメント別詳細説明
- ・ 経営上の取組事項

自動車

連結セグメント別売上・営業利益率推移



自動車

実績および業績予想の背景



2008年12月期実績	トレンド	売上	営業利益
<p>排ガス計測事業</p> <ul style="list-style-type: none"> + 自動車メーカーの低燃費エンジン開発への積極投資を背景に受注増加 過去最高の売上高・営業利益を計上 - 年度後半、円高により輸出採算悪化、景気悪化で受注減少 <p>DTS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> + 売上高増加+12億円(前期149億円→今期161億円) - 年度前半のユーロ高・原材料高の影響で営業損失5億円計上 		↑	↑
2009年12月期計画	トレンド	売上	営業利益
<p>排ガス計測事業</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自動車メーカーの設備投資計画延期により、需要大幅減少 円高による輸出採算悪化 <p>DTS事業</p> <ul style="list-style-type: none"> + リストラによる構造改革・経費削減 ユーロ安によるコストメリット → 営業利益ブレイクイーブンへ ※ユーロ安による売上高目減り(円換算値) 今期161億円→来期115億円 		↓	↓
米国		+ オバマ新大統領による環境政策	- BIG3破綻のリスク

先進国で有害ガス(CO、HC、NOxなど)の超微量化達成 → 排ガス規制は新分野へシフト

■ 排ガス規制

- PM(粒子状物質)など新有害物質の規制
- 乗用車以外・新興国での規制強化
 - 2004~2009年 Tier2規制段階導入(米国)
 - 2009年 EURO5(EU)
 - 2009年 ポスト新長期規制(日本)

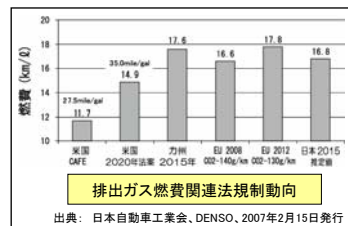


エンジン排出固体粒子数計測システム

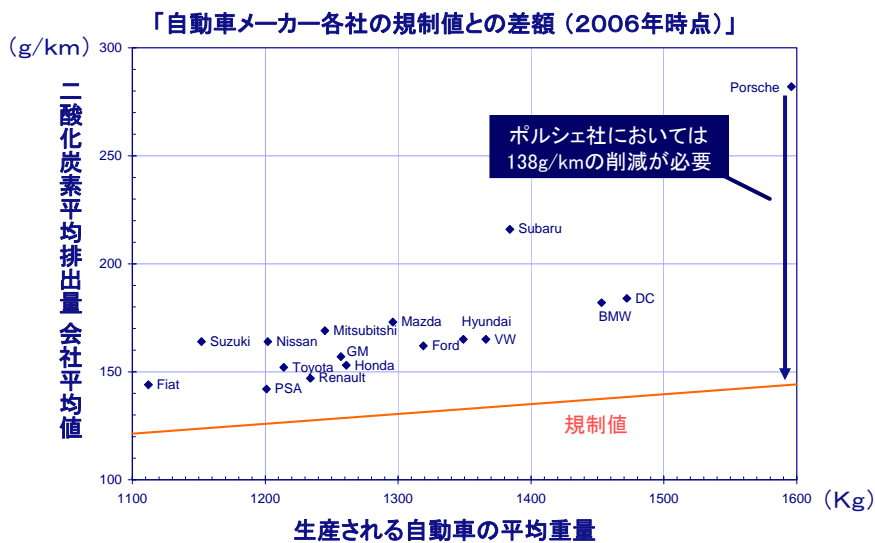
新測定法(粒子数測定)対応のPM測定用新製品を投入

■ 燃費規制(CO2 排出規制)

- クリアできない場合、罰金などのペナルティ
- 現時点では全メーカーが規制値未達
 - 導入済 CAFE規制(米国・加州)
 - 2012年 欧州委員会燃費規制(EU)
 - 2015年 燃費規制(日本)



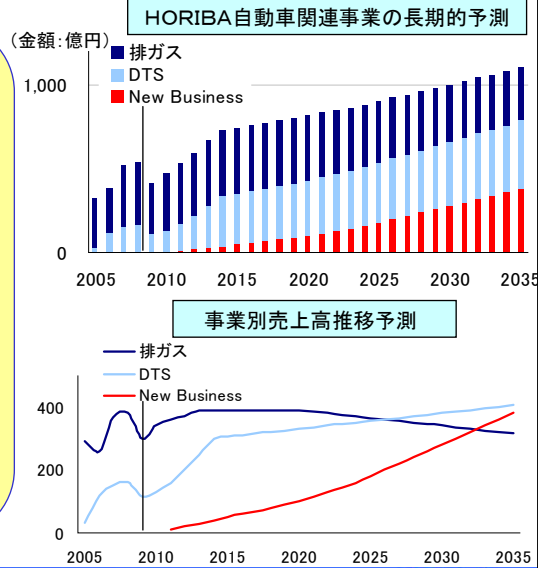
ハイブリッドなど低燃費車の開発加速



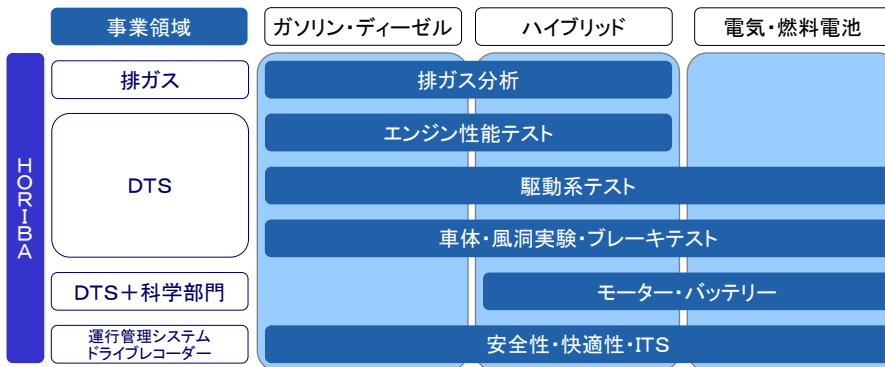
自動車産業ニーズへの対応

- ① 燃料の多様化
ディーゼル・バイオ
- ② 生産・開発拠点の分散
BRICs
- ③ 新車・エンジン開発期間の短縮
開発実験の省力化・無人化
- ④ ※ハイブリッド・電気自動車対応
モーター・バッテリー計測
- ⑤ ※快適性・安全性の追求

※New Business



自動車関連事業でのHORIBAの活躍フィールドは広がる



自動車メーカーとの強固な連携

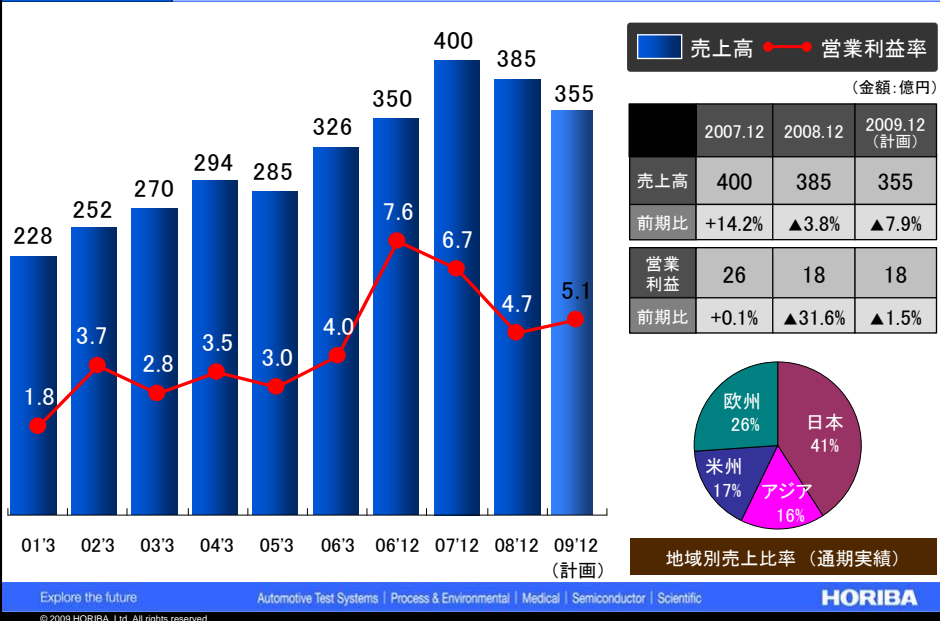
M&Aの活用

HORIBAの技術力の総力を結集

分析

連結セグメント別売上・営業利益率推移

HORIBA



Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

分析

実績および業績予想の背景

HORIBA

2008年12月期実績	トレンド	売上	営業利益
科学 + 最先端開発分野(製薬・バイオ・新素材)の需要好調 - 年度後半、一般産業用計測機器需要減少 環境 + 煙道排ガス分析装置更新需要増(国内) - 新興国向け販売伸び悩み		→	→
2009年12月期計画	トレンド	売上	営業利益
科学 + ホリバ・ジョバンイボン社(仏)製品は、ユーロ安によりコストメリット - 景気悪化により、一般産業用計測機器需要減少 環境 + 景気悪化の影響は限定的、煙道排ガス測定装置の好調継続 - 円高による輸出採算悪化		→	→

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

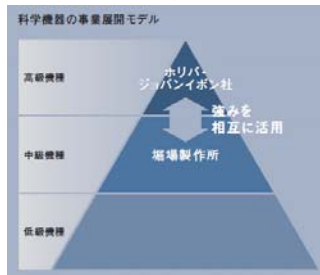
HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

科学分野

■ 堀場製作所・ホリバ・ジョバンイボン 連携強化

- 製薬・材料分析(ナノマテリアル)分野に注力
 - ラマン分光計など(ホリバ・ジョバンイボン)
 - 粒子径分布測定装置など(堀場製作所)
- 相互に得意分野の販路を補完
 - 先端開発分野(ホリバ・ジョバンイボン)
 - 産業分野(堀場製作所)

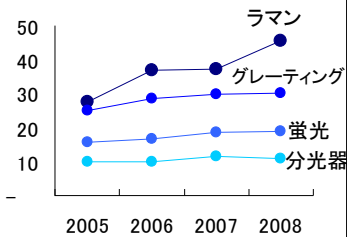


(金額: 億円)

科学分野損益

	2007	2008	2009 計画
売上高	257	248	223
営業利益	11	8	10

ホリバ・ジョバンイボン製品の売上推移



環境分野 (世界市場2,000億円)

■ 国内市場

- 長期にわたる市場競争で競合メーカ減少
 - 煙道排ガス分析計などシェア上昇
- 分析計稼働台数が年々増加
 - 消耗品・メンテナンス事業拡大(売上比33%)

■ 海外市場

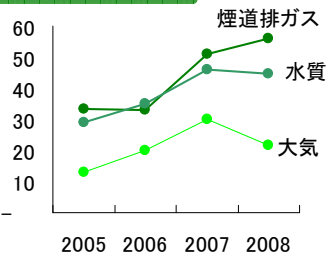
- 経済発展による規制強化でアジア市場拡大
 - 環境汚染計測から、排出源計測へシフト
- 日本で蓄積された環境計測ノウハウを活用し、地域ごとの規制に適合した製品群を投入
- 中国現地メーカの台頭による競争激化
 - 中国政府の現地メーカ優遇政策で苦戦

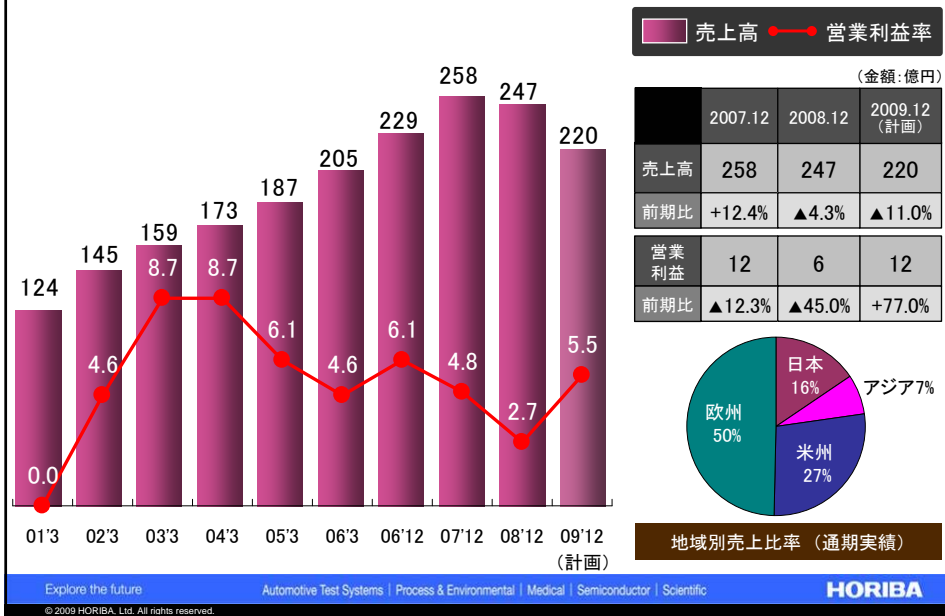
(金額: 億円)

環境分野損益

	2007	2008	2009 計画
売上高	143	137	132
営業利益	15	10	8

主要製品の売上推移





2008年12月期実績 トレンド 売上 → 営業利益 ↘

- + 検査試薬販売堅調(+2億円) 売上比率上昇(52%→55%)
- 小・中型血球計数装置、年度前半のユーロ高で苦戦、販売伸び悩み
ユーロ高による、ホリバABX社(仏)の採算悪化

2009年12月期計画 トレンド 売上 ↘ 営業利益 →

- + ユーロ安によるホリバABX製品の競争力UP・利益率改善
順次、新製品投入を予定
- 景気悪化による医療費予算削減
ユーロ安による売上高目減り(円換算値)

検査試薬販売(▲20億円 ~ユーロ安影響)
製品販売増加で売上比率低下(55%→53%)

HORIBA

医用 損益改善に向けた施策

- 為替変動の影響を受けにくいビジネス構築
 - 販売の地域バランス(米国・アジア強化)
 - 生産拠点分散(中・大型機:フランス、小型機:日本、試薬:消費地)
 - 部材のグローバル調達(日本・アジアからの調達強化)
- 販売拡大 ~新製品投入を加速~

2008年	日本	小型血球計数CRP測定装置
(予定)		
2009年	日本	血糖測定装置(POCT向け)
2009年	グローバル	小型・中型血球計数装置、小型生化学分析装置
2010年	グローバル	大型血球計数装置

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA**

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

医用 事業展開

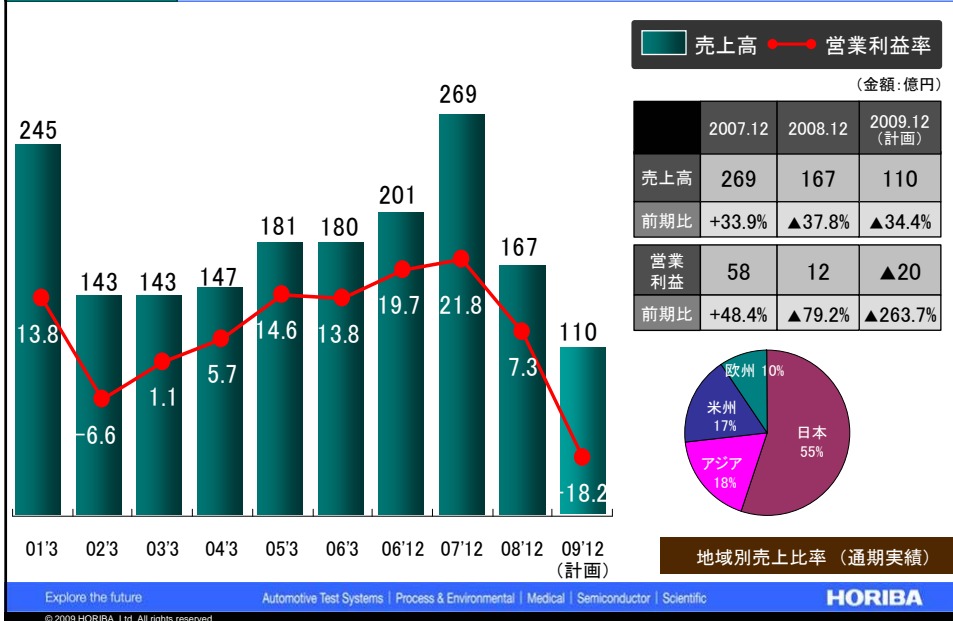
検査カテゴリ		生化学	血液		免疫
			血球計測	凝固	
市場規模		1兆円	2千億円	1千億円	1兆円
病院	大病院 検査センター	強化していく エリア	血球検査 システム	従来強みを 持つエリア	堀場製作所
	中小病院	生化学分析装置 (ロシュ社:MIR) 自社開発製品	中・小型 血球計数装置	凝固試薬 (BIO-PEP社)	
開業医		血糖値測定 (三共より買収)		CRP計測 (炎症検査)	
病棟・手術場 (POCT)		小型生化学			

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA**

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

半導体

連結セグメント別売上・営業利益率推移



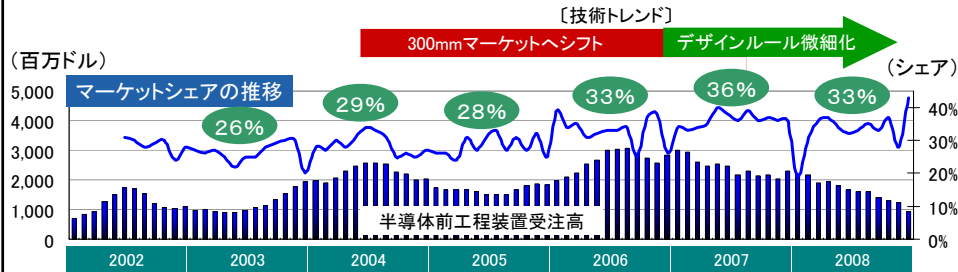
半導体

実績および業績予想の背景



2008年12月期実績	トレンド	売上	営業利益
半導体製造装置用マスフローコントローラ + 太陽電池市場向け伸び - 半導体市場悪化で国内・北米向け売上減少 半導体・液晶プロセス用検査装置 - 半導体市場悪化で洗浄機用薬液モニタ販売大幅減		↓	↓
年度後半 半導体市場の需要急減速			
2009年12月期計画	トレンド	売上	営業利益
半導体製造装置用マスフローコントローラ - 半導体市況回復の先行き不透明 太陽電池市場も短期的に縮小予想 + 化合物半導体市場向け投資は堅調 半導体・液晶プロセス用検査装置 - 半導体市場低迷で洗浄機用薬液モニタ販売大幅減		↓	↓
半導体前工程設備投資 前年比▲40%で想定			





- 2008年は、得意分野の最先端メモリ市場急減の影響で、シェアが若干低下 (2006年 33% → 2007年 36% → 2008年 33%)
- 半導体デザインルール微細化 (32nm、20nm) はチャンス (半導体製造装置次世代装置への標準採用増加を見込む)
- 太陽電池、化合物半導体など、非シリコン向けの市場拡大 (太陽電池向け新製品(低価格モデル)を投入)

世界シェア50%超をめざす

出典: SEMI

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

■ MFCのマーケット別展望

(金額: 億円)

	2007年		2008年		2009年見込		今後の予想
	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	
半導体(シリコン)	138	71%	58	48%	31	36%	↔
太陽電池	8	4%	16	13%	20	24%	↗
液晶	12	6%	12	10%	4	5%	↘
新分野	37	19%	34	28%	30	35%	↗
計	195	100%	120	100%	85	100%	↗

- 半導体 新規投資凍結、微細化プロセスの需要期待
- 太陽電池 金融危機の影響で短期的に投資縮小
長期的には拡大見込む
- FPD 供給量過剰、新規投資縮小
- 新分野 化合物半導体(LED)など需要拡大

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

■ 業界再編加速

- 競合の経営状況が悪化 → 業界再編の可能性大
- 買収など再編後はシェアが変動 → 供給・サービス体制が混乱
- 安定企業がベンダーとして選ばれる → HORIBAブランドへの安心感

シェアアップのチャンス拡大

■ インテルの次世代プロセス(微細化)戦略

- 32ナノプロセスへの大型投資
- 今後2年間で70億ドル(6,300億円)投資
- 新型プロセッサも販売前倒しへ

Intel Logic Technology Evolution

出典：インテル発表資料(2009年2月13日)より抜粋

Process Name	P1264	P1266	P1268	P1270	P1272
Lithography	65nm	45nm	32nm	22nm	16nm
1st Production	2005	2007	2009	2011	2013

HORIBAのプロセス管理用モニタリング装置の需要増加

説明内容

- ・ 2008年12月期決算サマリー
- ・ 2009年12月期業績計画
- ・ セグメント別詳細説明
- ・ 経営上の取組事項

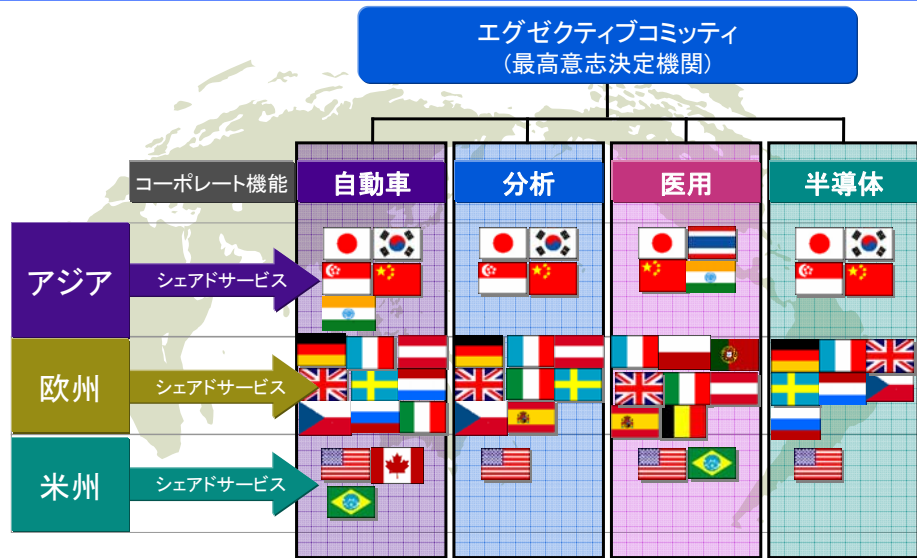
「One Company 経営」の推進

HORIBA Group is One Company

HORIBAグループは、統一されたブランドの下、
ビジョン・戦略を共有し、One Companyとして、
グループの企業価値・利益最大化を追求する

- ＜これまでの施策＞
- 社名変更・ブランドの統一
 - マトリックス経営の導入
 - 米国/EUグループ会社再編

「One Company」マトリックス経営の導入



グローバル経営執行体制を強化

HORIBA

■ 外国人執行役員3名登用(4月1日付)

- グローバル経営の推進
- グループ一体となった経営(One Company経営)強化



Michel Mariton(フランス)
分析(科学機器事業)セグメントリーダー
ホリバ・ジョバンイボン社 社長



Bertrand de Castelnaud(フランス)
医用セグメントリーダー
ホリバABX社 社長



Rex Tapp(米国)
自動車セグメント 米国責任者
ホリバ・インスツルメンツ社 副社長

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

配当政策および今期の配当金について

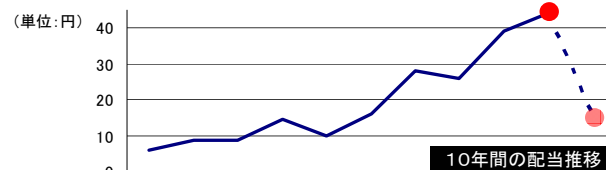
HORIBA

基本配当政策

- 配当金 = 個別(単体)純利益 × 30%
※個別純利益にはグループ会社の前期利益からの配当が含まれる
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

2008年12月期配当見込 44円(中間15円) 連結ベース配当性向 30.8%
営業減益もグループ会社からの配当増加、特別利益計上で増配見込

2009年12月期配当予想 15円(中間6円) 連結ベース配当性向 42.3%
業績悪化に加え、前年度減益でグループ会社の配当減少により減配予想



Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

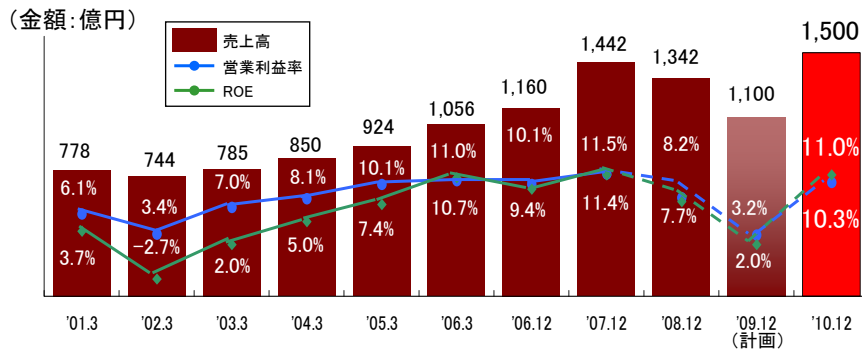
中長期経営計画

HORIBA

中長期経営計画(2010年目標)

売上高 1,500億円
 営業利益 10%以上
 ROE 11%以上

- ◆ 次期中長期経営計画の発表延期
- ◆ 現行目標の早期達成を目指す
- ◆ 2011年を起点とする次期計画を策定
(2010年発表予定)



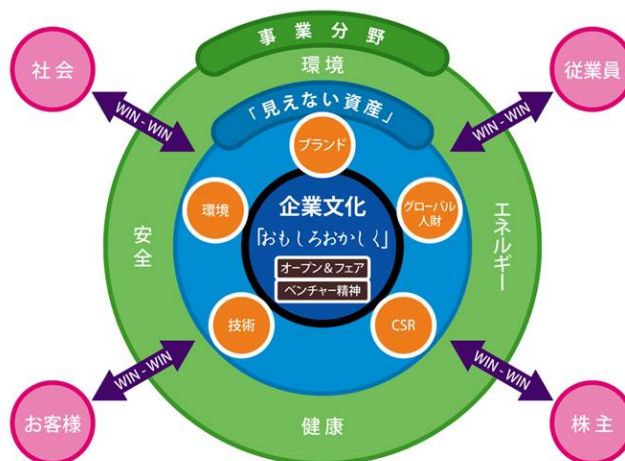
Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

企業文化を中心に据えた経営の推進

HORIBA



すべてのステークホルダーと“WIN-WIN”の関係を構築することで、
 持続的な成長と企業価値の創造をめざす

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

ご清聴ありがとうございました

HORIBA



MLMAP
Mid-Long Term Management Plan

2006-2010

Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

© 2009 HORIBA, Ltd. All rights reserved.